

# 新年のごあいさつ

## 『スローシティのまちづくり』

牛久市長 池辺 勝幸



明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。  
昨年は、3月11日に東日本大震災が発生しました。今までに経験したことのない大災害への対応に追われた、激動の1年でした。地震被害からの復旧の目途はついたものの、放射能汚染への対応については、未だ先が見えず、現在も除染作業や、健康対策等に苦慮しているところであります。

このように苦しい1年間ではありましたが、牛久市には明るい話題もありました。牛久市出身の稀勢の里関が、大関昇進を果たしたことです。親方の死を乗り越え、一生懸命夢に向かって努力し、大関の夢を叶えられたことは、牛久市民全員に、夢と希望を与える、大変素晴らしい事であります。  
牛久市においても、課題を一つ一つ解決し、全ての市民が互いに支えあい、皆が安心してゆつたりと生活できる、「スローシティのまちづくり」を基本理念に、魅力あふれるまちづくりを進めてまいります。

市外の皆様からも、牛久市に魅力を感じてもらうことで、人が集まり、牛久市が県南地域における生活圏の中心的な役割を担うまちとなり、さらに将来にわたって、継続的に発展し続けることができるまちにしたいと考えていますので、今後ともより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市民の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、新年のあいさつとさせていただきます。

## 市民が安全に、安心して生活できる街づくりを目指して

牛久市議会

謹んで新年の御祝詞を申し上げます。  
市民の皆様におかれましては、お健やかに初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。  
昨年中は市議会の活動に対し、温かいご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、3月11日に東日本大震災が発生し、地震に連動した大津波の影響によって、人的被害は未曾有のものとなり、東北地方、さらには関東地方の広範囲に多大なる被害を及ぼし、節電、節約、個人消費の低迷、企業の設備投資抑制に急激な円高事情など、厳しい経済環境が私たちの生活に大きな影響を与えました。  
迎えました平成24年においては、本格的な景気の回復と、明るい話題が豊富な一年となりますよう切に念願いたします。

また、現在、本市をはじめ地方公共団体においては、厳しい財務事情や少子高齢、地方分権など、将来に向けた大きな課題を抱えております。

市議会といたしましては、議会の活性化に向けた調査・検討を行うなど、今の時代にふさわしい議会の改革を進め、健全なる政策に取り組んでまいりますとともに、限られた財源のもと、あらゆる面で創意と工夫を凝らして、効果的、効率的な行政運営に取り組んでまいり所存でございますので、どうか本年もより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が市民の皆様にとりまして、実りある飛躍の年となりますよう心から祈念申し上げます。  
上げ、年頭の挨拶  
といたします。



議長  
柳井 哲也



副議長  
山越 守



# 姉妹都市・親善友好都市から新年のメッセージ

## 【姉妹都市】 オーストラリア オレンジ市から



オレンジ市長  
ジョン・デイビス

池辺市長、市のスタッフの方々、および牛久市民の皆様は新年のごあいさつをする機会をいただき、うれしく思います。

私たちは、昨年3月、日本を襲った破壊的な地震と津波、そしてその後の悲惨な日々を想像しては、深く思い沈んでおりましたが、今は、心を引き裂くような悲劇に立ち向かっている日本人の勇気と精神力を心から称賛したいと思います。非常に多くの援助の手が差し伸べられたこと、特に優しく寛大な牛久市民が避難所を提供したことを知り、安心いたしました。

地震が起きた時、ちょうど日本に帰国するところであつた牛久市の高校生や派遣団員たちのことも、とても気掛かりでありました。彼らは、帰国後、何が待ち受けているのか分からず、とても不安だつたに違いありません。

このような困難のときには、気に掛けてくれてる友人の存在は大きな慰めになると思います。私たちは遠く離れておりますが、多くの点で友情の絆は強く、姉妹都市であるオレンジ市の市民は、この災害で亡くなった方々、行方不明の方々に心からの追悼の意を表します。そして、今後の再建と復興を祈念いたしております。

本年が安全で繁栄し、平和と調和の年になりますよう心から願います。

## 【姉妹都市】 カナダ ホワイトホース市から



ホワイトホース市長  
ベヴ・バックウエイ

姉妹都市である牛久市民の皆様は新年のごあいさつができますことを、喜ばしく思います。新年が牛久市民の皆様にとつて、繁栄とご多幸をもたらすようお祈りいたします。

昨年の夏には、牛久市の交換青少年と団長をホワイトホース市にお迎えてきたことをうれしく思います。若い皆さんは、日本に帰られた後、ご家族の皆様と素晴らしい体験を共有されたことと思います。地理的な相違を考えると、文化交流を通して親睦を深めることのできるこの企画は、私たちにとつて、とても価値のあるものであります。

これまでの交換青少年の企画が大きな成果を上げていることを考え、本年は、交換青少年団を姉妹都市である牛久市に派遣することを楽しみにしております。

明けましておめでとうございます。牛久市の皆様には、新春をお健やかに迎えられることと、心からお慶び申し上げます。

昨年3月の東日本大震災に際しましては、震災直後の混乱の最中に、貴市よりいち早く給水車両を送り込んでいただき、未給水区域の給水活動にご尽力をいただきました。改めて、深く感謝申し上げます。

毎年、「うしくかつば祭り」などに多くの常陸太田市民が参加させていただき、また、牛久市の皆様には、「ハイキング」や「秋まつり」などにお越しいただいていますが、昨年、更に「常陸秋そばフェスティバル」にも多数お越しいただきました。こうした交流をとおして、両市の絆が一層深まることを心より期待いたしております。

結びに、貴市のご発展と市民の皆様のご健勝・ご多幸を心よりお祈り申し上げます、新年のごあいさついたします。

明けましておめでとうございます。

牛久市の皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、東日本大震災に見舞われ、当色麻町においても、東松島で津波に巻き込まれて1人が亡くなり、負傷者9名、家屋の半損壊など歴史的な被害となりました。また、各公共施設や道路、上下水道施設にも被害が及び、特に「ステーキハウスふるさと」は解体するに至りました。また、震災直後から生活に欠かせない電気、電話、水道などのライフラインが途絶え、さらには物資不足が続く中、牛久市の皆様からは職員の派遣とともに、大量の食糧や燃料、資機材などのご支援をいただき、町民ともども大変勇気づけられました。昨年の「うしくかつば祭り」で、町民を代表し、池辺市長へ感謝状を贈らせていただきました。改めて心より御礼申し上げます。

今後とも交流事業を通して、牛久市と色麻町の絆をより一層強いものにしてまいりたいと思います。今年8月の「かつばのふるさと祭り」では、牛久市の皆様にお会いできることを心から楽しみにしております。

牛久市のますますのご発展と市民の皆様のご多幸をお祈り申し上げます、新年のあいさついたします。

## 親善友好都市 宮城県 加美郡 色麻町から

色麻町長  
伊藤 拓哉



## 姉妹都市 茨城県 常陸太田市から

常陸太田市長  
大久保 太一

